

政策調整会議の概要

開催日 平成 21 年 11 月 18 日 (水)

◎項 目

- 1 東京事務所の活動状況について【東京事務所】
- 2 エンジン 01 についてのご案内【文化生活部】

◎内 容

1 東京事務所の活動状況について【東京事務所】

東京事務所から、政権交代後の活動状況について報告があり、意見交換を行った。

【概要説明】

- ・鳩山政権発足後の補正予算の見直し及び概算要求再提出について情報収集しているが、省庁は政務三役から指示を待っている状況で、大臣や政務官の記者会見で初めて職員が内容を知ること多いようだ。
- ・10月の半ばを期限として概算要求の再提出がされたが、昨日までに事業仕分けの第1弾があり、来週第2弾が始まるので、この結果を踏まえてどうなるのかということも追求していきたい。ただ、概算要求の詳細は分からないことがかなりあるので、情報がほしいという事項については、あらかじめ連絡をしてもらいたい。
- ・新政権発足後の政策提言活動について、変わったと思うことは、政務三役へのアポ取りが極めて難しくなったことである。これまでのように省庁に対してアポ取りをしようとしても相手にはしてもらえない。
- ・しかし、省庁の局長や審議官等々の方に対しては何もしないということではなく、民主党に対して政策提言をしたときには、情報提供をしていく考えである。
- ・全国知事会では新たに9のプロジェクトチームが発足しており、尾崎知事は「国と地方の協議の場の法制化」「一括交付金」「後期高齢者医療」の3つのプロジェクトチームに参加している。これらでの議論を踏まえ、高知県単独ではなくできるだけ仲間を集めていくという活動も必要ではないかと思う。
- ・過渡期ではあるが、変わったことは変わったこととして受け入れながら、やることはやっていきたい。省庁に対しては今までどおりに回って説明をし、情報ももらうという活動を続けていく。

【主な意見】

- ・関係市町村長にも動いていただいている8の字ネットワークやダムの関係では、そのフォローを含めた活動を考えている。19日には、高速道路が全部はつながっていない9つの県で政策提言を行う予定になっている。
- ・マニフェストに具体的に書かれていることが今後どうなるかについては、かなり影響があるので、東京事務所にも省庁の担当各課室に当たってもらっているが、なかなか情報がないというのが現状である。
- ・担当課長に説明に行き、話は聞いてもらったが、具体的に概算要求の見直しがどうなるかについてはこれからであるとのことだった。

→東京事務所の担当だけでは、膨大な概算要求の全部は分からないので、「この点をこういうところに聞いてほしい」といった具体的な指示をもらえたらと思う。(東京事務所)

- ・各省庁の課長等が報道で初めて知るという状況では、県庁でもあらゆる情報をインターネットや報道を通じて把握していくことが必要と思う。来年度予算編成にしても、行政刷新会議で議論がどのように行

われて、それが最終的な内閣の政治判断にどのようにつながるのかを押さえていないといけない。当面は報道やインターネット中継で情報収集をきちんとしていくことが最優先だろう。政策提言についても、これまでは大臣に会うために大臣秘書官と日程調整をすればよかったが、今後は様々な手続きを踏まなければならない。このことをよく頭に置いて今後対応していかなければならない。

2 エンジン 01 についてのご案内【文化生活部】

文化生活部から、今月 26 日から 29 日の間に開催されるエンジン 01 オープンカレッジと夜楽の開催について説明を行った。